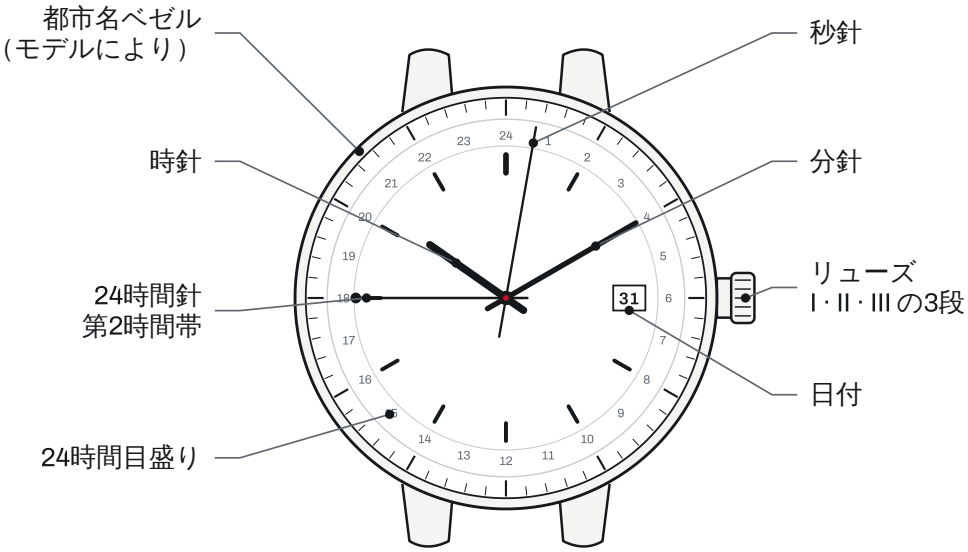
GMT ウォッチ

自動巻きムーブメント · ブレラム キャリバー BR-893-GMT · ETA 2893-2 ベース

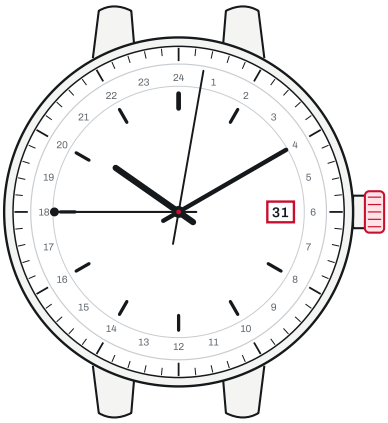
A 表示

針と表示



B 設定

3段式リューズ



I 通常位置・手巻き

通常の位置です。リューズを上方向に回すと手巻きができます。腕に着けていれば自動で巻き上げられます。

II 日付・24時間針の早送り

リューズを一方向に回すと日付が進み、反対方向に回すと24時間針を第2時間帯に合わせられます。

III 時刻合わせ

秒針が止まり、秒単位で時刻を合わせられます。日付は針が午前0時を通過すると切り替わります。午前・午後を確実に合わせるには、日付が変わるまで針を進めてから時刻を合わせてください。

! 午後10時から午前4時の間は日付を修正しないでください

この時間帯は日付の切り替え機構が作動しているため、修正すると故障の原因になります。まず針をこの時間帯の外に移動させ（位置 III）、それから日付を合わせてください（位置 II）。

C 第2時間帯

24時間針



時針と分針は現地時刻を示します。24時間針は1日1回転し、24時間目盛りで第2時間帯の時刻を示します。昼と夜を取り違えることはありません。

例：レイキャビクで午後10時のとき、24時間針を18に合わせると、ニューヨークの時刻を示します。

モデルにより、回転ベゼルに都市名があります。第2時間帯の都市を24時間針の位置に合わせると、ほかの都市の時刻を24時間目盛りで読み取れます。

巻き上げ

毎日着用すれば自動で巻き上げられます。数日間使用しなかった場合は、位置 I でリューズを20〜30回巻いてください。

水

水中ではプッシャーやリューズを絶対に操作しないでください。リューズは必ず位置 I に戻してください。

サービス

ご質問、調整、オーバーホールのご相談は：customer@brellum.swiss